

－ 目 次 －

推薦のことば

はじめに

1	ガイドラインの趣旨	1
2	藻場とは	3
2-1	藻場の区分	3
2-2	藻場の役割	3
2-3	藻場構成種の生活史	4
2-4	藻場の季節的消長	6
3	磯焼けとは	12
3-1	磯焼けの定義	12
3-2	磯焼けの影響と回復までの期間	12
3-3	磯焼けの原因としくみ	14
3-4	磯焼けの景観と無節サンゴモ	14
3-5	磯焼けと区別すべき景観・事象	19
3-6	磯焼け研究の事始め	20
3-7	磯焼けの増加と拡大	21
3-8	ウニや魚の食害による磯焼け	21
3-9	藻場回復・残存の事例	23
3-10	藻場造成と磯焼け体策の考え方	23
4	最近の状況	26
4-1	藻場の衰退状況	26
4-2	ウニの分布と藻場の衰退	27
4-3	植食性魚類の分布と藻場の衰退	28
5	磯焼け対策の手順	30
5-1	順応的な磯焼け対策の考え方	30
5-2	磯焼け対策のフロー	32
5-3	体制づくり	35
A	磯焼けの感知	36
B	藻場形成の阻害要因の特定	41
B1	現状の把握調査とそれに基づく要因の特定	41
B2	要因を特定するための簡易な現地実験と調査	44
C	回復目標の設定	50
D	阻害要因の除去・緩和手法の検討	52
D1	ウニの食害に対する除去・緩和手法の選択	52
D2	魚の食害に対する除去・緩和手法の選択	54
D3	海藻のタネ不足	57
D4	懸濁物質の増加	58
D5	栄養塩不足	60
D6	着定基質の不足	62
E	要素技術の選択	63
E1	除去（ウニ）	63
E2	分散（ウニ）	68
E3	防御（ウニ）	69
E4	除去（植食性魚類）	71
E5	分散（植食性魚類）	76
E6	防御（植食性魚類）	77
E7	移植	79
E8	浮泥堆積防止	81
E9	栄養塩供給	82
E10	基質確保	84